

向陽中学校だより<第8号>



走れ向陽!

～志のある
夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く

平成30年8月27日(月)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
Tel.35-2348 Fax35-2849

～2学期がスタート<暑さに負けず、実り多い学期に>～

37日の長い夏休みも終わり、今日から第2学期がスタートしました。今年の夏休みは猛暑が続きましたが、子ども達は一段とたくましくなり元気な姿を見せてくれました。ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。休み中の中体連県大会では、相双の代表として大活躍しました。ご家庭の方々のご支援、ご声援ありがとうございました。団体では女子バレーボール部(県大会3位)と女子卓球部が、個人では男子柔道の〇〇君、〇〇君、〇〇君、女子卓球の〇〇さん、水泳の〇〇君が東北大会に出場し、向陽中の名に恥じない素晴らしい試合を展開しました。また、早朝から駅伝の練習や常設部の練習、英語弁論大会の練習等にも頑張りました。3年生も進路実現に向け、高校の体験入学、サマースクール、学習会に真剣に取り組みました。大変蒸し暑い中でしたが、漢字検定にもたくさんの生徒が挑戦しました。(上の写真)



P T Aの皆様には猛暑の中、段ボール回収、校外補導、相馬市盆踊りでの巡回補導等多方面でお世話になりました。改めて皆様のたくさんのご協力、応援に心より感謝申し上げます。

2学期は職場体験や駅伝、向陽祭、3年生の進路選択等大きな行事が目白押しです。特に9月はたくさんのP T A行事が予定されています。生徒の社会性の育成や授業の充実にも一層力を入れていきます。1学期に引き続き、新聞やコラムを活用して、要約し、自分の考えや意見をまとめる力や書く力、コミュニケーションを図り他と対話する力を身につけさせたいと思います。2学期も保護者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

これからの社会 (始業式式辞の一部)

さて、2学期のスタートにあたって「これからの社会」についてお話しします。2年前の夏休み中「60の女性患者の正確な白血病の病名を人工知能(AI)がわずか10分で見抜き、病名から割り出した適切な治療法によって患者の命を救った」というニュースが流れました。この患者は入院し、半年間薬で治療を受けていましたが、病気はよくなりませんでした。そこで人工知能を活用するとわずか10分で正確な病名を診断しました。人間なら読むのに1ヶ月半もかかり、しかもすべて記憶できない医学論文を人工知能はわずか20分で読み記憶することができるそうです。高度な知識と豊富な経験が要求される医師という職業も、機械の方が勝る分野が出てきました。職業の大変革時代に突入し始めたことに、ある種のショックを覚えました。皆さんが社会に出て働く頃、日本における職業が大きく変わり、今働いている人の半分は職を機械に奪われる可能性があります。そのような状況でどのような能力が必要になるか考えたことがありますか。

人工知能やロボットにも得意・不得意があります。事務的な領域は得意ですが、創造性やもてなしなどは苦手の領域です。2学期は行事がたくさんあります。創造性やおもてなしを高めて成長する学期にしていきましょう。皆さんが、目の前の友達の様子を見て、何ができるか考える力=課題発見力をもっと高めてほしいと願っています。この能力は皆さんが将来生き抜くためにとても必要な力です。

裏面もご覧ください

1日(土)	市連P球技大会	19日(水)	2年職場体験(～20日)
3日(月)	教育相談(8/29～)	22日(土)	郡P研究大会相馬大会
5日(水)	相双駅伝大会	23日(日)	Ⓢ 秋分の日
6日(木)	3年将来設計講座	24日(月)	振替休日
11日(火)	防災訓練	26日(水)	3年実力テスト、所長訪問
14日(金)	中間テスト	29日(土)	P T A資源物回収
17日(月)	Ⓢ 敬老の日		

※ 残暑厳しいところですが、1日(土)、22日(土)、29日(土)のP T A行事への協力、よろしく願いいたします。

【8,9月】学校経営の重点 ～「夏に鍛えた」成果を生かし、「充実の2学期」への好スタートを～

8月の学校生活目標「2学期の目標を立て、規律ある学校生活を送る」

☆実践の重点<(1, 2年)学校の生活リズムの確立 (3年)進路への切り替えと自律的な集団生活の実践 ☆『いじめアンケート』の実施>・必要に応じた個別指導 ・部活動での指導 ・家庭学習の習慣化 ※部活動の新旧交代に伴う、責任感を持たせる指導を行う。

9月の学校生活目標「お互いの良さを認め合い、協調して学級・学校生活に取り組む」

☆実践の重点<(1年)行事の意味を理解し自覚ある行動に努める (2年)集団の一員として自覚を持つ (3年)自己の役割を認識し、規律ある学校生活に努める『情報モラル確認日』の配付 >・服装、言葉遣い、持ち物 ・交友関係、家庭環境の変化 ・行事への参加 ・授業中の態度 ※問題傾向をもつ生徒の訪問や連絡を取り合う。

1 2学期（授業日数81日）の目標・めあてづくり

⇒ 1学期の反省を生かし、夏休みの諸活動を自信につなげ、「豊かな実りと充実」の2学期になるようにしっかりとしたスタートを切りたい。

(1) 2学期「どんな学級作り」「どんな生徒の育成」を目指すのか？

- 学級担任としての考えや願い。→生徒に伝え、話し合う。
- 教師と生徒が共通認識に立って。→一人一人に実現可能な目標やめあてを作る。
- 担任としての継続的な声かけ。→どの子にもやる気を喚起する。

(2) 2学期の目標・めあてを生徒自身にじっくり決めさせ、その実現を決意させる。

- 1学期の反省、夏休みの成果や反省を生かす。
- 生活面、学習面、運動面、心の面などいくつかの観点を設ける。
- 特に3年生は、進路を決定する大事な時期。生徒と保護者と十分に話し合い進路目標を明確にする。→最大の努力をさせる。

2 「充実の2学期」になるよう具体的な取り組み

(1) 一人一人の生徒に「確かな学力」の定着を → 授業で勝負！

- 自ら考え、学び合いのある授業、意欲や質問を大切にした授業。
- 個に応じた指導法の実践、主体的な学習態度の育成。

※少人数学級にただで学力が上がるのか？

→・教員の指導力の向上 ・指導方法の工夫 ・弾力的運用

(教材の研究・開発 ワークシートの工夫 学習形態の工夫 TT、習熟度別

生徒同士の学び合い)

- 毎日毎日の宿題・課題・自主学習・家庭学習の積み重ね

※「教師自身の指導意欲が、生徒の学習意欲を喚起する。」

- 新聞・コラムの活用事業

- 現職教育研究授業の実践

「生徒全員が学ぶ喜びを感じる学習指導」(＝一人も見捨てない)

～対話を通して学びを深める指導の在り方～

◇ 12 / 14 (金) 全学年相馬市学力調査 (学力コンクール)

(2) 生徒の成長に視点を当てた、深く豊かな教育活動の展開を

- 体験・学習活動 (総合的な学習、委員会・生徒会活動、職場体験学習など)
- 文化・芸術 (相新音楽祭、向陽祭など)
- 運動・スポーツ (相双駅伝大会、新人大会など)
- 豊かな人間性の育成 (道徳の時間の充実、朝の読書、部活動、友達関係など)

(3) 生徒指導の充実を

- いじめアンケートや教育相談の活用
- 不登校、いじめ、校内暴力のない向陽中を目指して
→目的を持たせて、「居場所づくり」と「絆づくり」
- 「手を離しても目を離さず、目を離しても心を離さず」
- SC、教育支援相談員、ふれあい広場等との関係機関との更なる連携

(4) 「豊かな実りと充実」を実現させる学習環境作りを → 環境が人をつくる

- 掃除の徹底、時季に応じた校内の諸掲示、教室内の掲示
- 教室や特別教室、校舎周辺などの整理整頓
- 笑い声のある、花が咲き、歌声の響く向陽中

(5) 給食指導、食に関する指導の充実

- 学期始めの衛生管理の徹底
- 給食指導の徹底、食に関する指導の工夫